

定例会会議録 第1回 災害ボランティア・デザイナー 浜北・天竜地区

日時：平成19年2月23日 19：30～21：15 会場：浜松市山東 やまゆり荘 野本作成 Ver

【参加者】

下線社協職員

- ・伊藤学、中村(天竜)・佐野、生田(龍山)
- ・古井、牧野、三室、鈴木勝彦、中谷、鈴木菊代、栗原、田坂(浜北)
- ・山口(磐田市、天竜支所勤務)

【4月1日以降の浜松市防災体制】

- ・災害時には、本庁に災害対策本部、8区役所に区本部、7地域自治センターに地域本部、その他14地区支部が立ち上がる。
- ・区又は地域本部などとのボランティアの関わり方は不透明なため、今後の課題として取り組む必要がある。
- ・災害ボランティア活動拠点は市内54箇所。平時の活動拠点である社協事務所が含まれていない地域あり。
- ・社会福祉協議会：災害対応の計画や行動マニュアルが無いので、作成していく予定。



【法律を学ぶ】

- ・災害救助法(昭和22年): 県が基金積み立て、該当要件あり、届出業務=被害調査が必要、県が指定、原則県知事が実施、現物支給主義。災害時の補助事業メニューの一つ。
- ・災害対策基本法(昭和36年): 伊勢湾台風の経験を踏まえ立法。浜松市防災会議を設置し地域防災計画を作成している。
- ・大規模災害特別措置法(昭和56年): 予

- 1 定例会はどなたでも参加できますので希望する方は野本まで問い合わせください。
- 2 浜北、天竜地区修了者などの皆さまには別途ご連絡申し上げます。

知可能な東海地震に対応するために制定。

【ほのぼの灯りづくり】

話し合いだけでは長続きしないので、今後もハウツー体験を行いながら場を和ませた交流を図ります。



【意見交換】

何をやっていこうか？

- ・一人一人のネットワークを形成。またアイデアを持ち寄り高める。
- ・災害時を創造して、課題の解決に向けた話し合いを地道に進める。
- ・知識、知恵を少人数で継続して学び、少しずつ地域へ広める。またイベントなどに参加し講師役、活動発表へつなげる。
- 話し合いだけでなく、実践的なセンター立ち上げ、図上訓練研修なども必要。
- 養成講座修了してから何をしてもよいのか分からないので、活動のマニュアル化を希望する。

いろいろな情報、ネタを持ち寄ろう。

【次回】

- ・日時：5月下旬
- ・会場：やまゆり荘(浜松市山東)
- ・ハウツー体験：
「ママのストック」でできる応急救急法」
- ・準備：パンティーストック1足、はさみ
- ・定例会を始める前：ガラスコップを用意し「ほのぼの灯り」をつくる。